

【注意事項】

R20TS0119JJ0100

Rev.1.00

2017.01.16 号

統合開発環境 e² studio V5.2**概要**

統合開発環境 e² studio V5.2 の使用上の注意事項を連絡します。

1. GNU コンパイラ用プロジェクトご使用時の注意事項**1. GNU コンパイラ用プロジェクトご使用時の注意事項****1.1 該当製品**e² studio V5.2.0.020**1.2 内容**

GNU コンパイラ用プロジェクトにおいて、ソースファイル単位で個別にビルドオプションを設定した場合、以下の2つのエラーメッセージが表示される場合があります。この場合、設定しようとしていた内容は反映されず、また、以降の変更もできません。

<エラーメッセージ>

「問題が発生：エラーが発生しました。詳細については、エラー・ログを参照してください。」

「変更を受け入れられません：現在表示されているページに、無効な値が含まれています。」

1.3 発生条件

以下の条件をすべて満たすときに、発生する場合があります。

(1) 以下のいずれかの GNU コンパイラ用プロジェクトを使用している。

- GNUARM-NONE-EABI toolchain (GNU ARM Embedded toolchain は対象外)
- GNURX-ELF toolchain または Renesas GCC for RX toolchain
- GNURL-ELF toolchain または Renesas GCC for RL78 toolchain

(2) 以下の操作手順で、ソースファイル単位で個別にビルドオプションを設定している。

[操作手順]

- 1 プロジェクト・エクスプローラ上で、プロジェクト名ではなくソースファイルを選択する。
- 2.以下のいずれかの操作により、プロジェクトのプロパティ画面を開く。
 - (a) ツールバーの「e²」ボタンを押す。
 - (b) メニューの「Renesas Tool Settings」を選択する。
 - (c) CTRL+T をキー押下する。

1.4 回避策

e² studio V5.2 において、ソースファイル単位で個別にビルドオプションを設定する場合は、一旦、e² studio V5.1 で設定した後、再び e² studio V5.2 にプロジェクトをインポートしてください。

1.5 恒久対策

e² studio V5.3.0 で改修します。(1月20日公開予定)

詳細は RENESAS TOOL NEWS 資料番号 R20TS0118JJ0100 をご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=r20ts0118>

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2017.01.16	-	新規発行

ルネサスエレクトロニクス株式会社
 〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

■総合お問い合わせ先
<http://japan.renesas.com/contact/>

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。